

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第1区分
【発行日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【公開番号】特開2000-173473(P2000-173473A)
【公開日】平成12年6月23日(2000.6.23)
【出願番号】特願平10-347571
【国際特許分類第7版】
H01J 9/50
【FI】
H01J 9/50 A

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月31日(2005.10.31)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】ファンネルとパネルとがフリットガラスにより融着された陰極線管を、前記ファンネルと前記パネルとに分離する方法であって、
外部に露出した前記フリットガラスの一部又は全部を機械的外力を加えることにより平面状に加工する工程と、
前記平面内の、前記ファンネルと前記パネルとの接合部に対応する位置に溝を形成する工程と、

前記陰極線管に温液体と冷液体とを付与する工程とを有することを特徴とする陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項2】前記平面状に機械加工する工程が、砥石による研削加工により行なわれる請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項3】前記溝をバイトを用いて1～3mmの深さに形成する請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項4】前記フリットガラスの平面状の加工が、ショットブラストにより行なわれる請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項5】前記ショットブラストを、アルミナ粒子を用いて行なう請求項4に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項6】前記温液体と冷液体との付与を、温液体、冷液体、温液体の順に付与する請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項7】前記温液体と冷液体とをシートを介して前記陰極線管に付与する請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項8】前記シートが、樹脂フィルムである請求項7に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項9】前記温液体と冷液体との付与を、前記陰極線管を、温液体を貯蔵して攪拌する温液体槽と、冷液体を貯蔵して攪拌する冷液体槽とに交互に浸漬することにより行なう請求項1に記載の陰極線管のファンネルとパネルとの分離方法。

【請求項10】ファンネルとパネルとがフリットガラスにより融着された陰極線管を、前記パネル面の中央部での法線を回転中心として回転可能に支持する回転テーブルと、
外部に露出した前記フリットガラスの一部又は全部を除去して平面を形成する研削装置と、
形成された前記平面に溝を形成する溝形成装置とを備えたことを特徴とする陰極線管のフ

リットガラスの除去装置。

【請求項 1 1】前記研削装置が、円筒形砥石を備える請求項 1 0 に記載の陰極線管のフリットガラスの除去装置。

【請求項 1 2】前記溝形成装置が、バイトを備える請求項 1 0 に記載の陰極線管のフリットガラスの除去装置。

【請求項 1 3】更に前記回転テーブルに設置された陰極線管の前記フリットガラスの高さを測定する高さ測定装置と、前記高さに応じて前記陰極線管、前記研削装置、及び前記溝形成装置の少なくとも一つの高さを変更できる高さ調整装置とを有する請求項 1 0 に記載の陰極線管のフリットガラスの除去装置。

【請求項 1 4】更に前記陰極線管の外周面のならい装置を有し、前記ならい装置により得た形状データをもとに、前記研削装置及び前記溝形成装置の切り込み方向の送り量を制御する請求項 1 0 に記載の陰極線管のフリットガラスの除去装置。